FUTABA

2020年3月期(第106期) 第2四半期決算説明会資料

新5ヵ年計画の進捗

取締役専務執行役員 大橋 二三夫

2019年11月19日 フタバ産業株式会社 (#7241)

・新5カ年計画の進捗

- 1. 新5カ年計画の概要
- 2. 効率化、管理面強化の取組み
- 3. 将来の成長に向けた取組み
- 4. 連結売上高と営業利益率推移

1. 新5カ年計画の概要

2016年2017年2018年2019年2020年体制整備計画の確実 な実施計画達成の 目途付け計画達成

「よい品、より安く」を基本とした 新たな成長ステージ

基本姿勢

将来にわたり、成長性が期待できる分野へのリソーセスの 重点投入と、収益性が期待できない分野の見直しを通 じて、会社としての継続的成長を目指す

基本方針

- ▶「安全、品質、ものづくり」の基本の徹底
- ⇒ 安定した収益確保のための構造改革と原価マネジメントの強化
- ▶ 拠点最適化と経営資源の効率的な配分
- > コア技術の更なる進化と新規分野への活用
- ▶ 人材育成と組織力の強化

目指す姿

「 挑戦する人 の集団 」

「モノづくりで 社会に貢献 I

「新しい価値を 世界へ提供」

2016年 2017年 2019年 2018年 2020年 新5ヵ年計画 将来に向けた成長戦略 当初 効率化、管理面強化 将来に向けた成長戦略 ~取り巻く環境を踏まえた 課題対応~ 効率化、管理面強化 ~経営・収益基盤の足元固め~ 2018年より、「効率化・管理面強化を最重点とした取組み」 ⇒「将来の成長に向けた取組み」へ軸足を移行

①生産部門の事例(現状)

【取組み】各製造設備にタブレット端末を利用したデータ収集システムを 三河全工場に導入完了

【ねらい】 実績記録の手書き・重複入力作業の廃止とタイムリーな生産実績の 見える化



三河の全工場(6工場)の各ラインへタブレットを 800台導入

⇒今後グローバルで導入予定

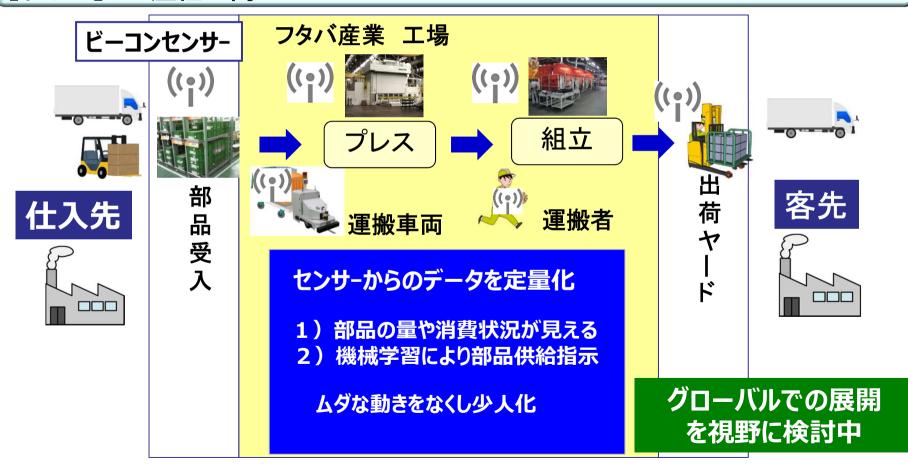
改善	項目	生産実績記録	生産実績入力	生産管理資料作成	分析•改善
	いつ	NΘ	NΘ	NΘ	N∃~
	手段	タブレットに入力	システム自動化	システム自動化 「「「「「」」「「」」「「」」「」「」」「」「」」「」「」」「」「」」「」	

2. 効率化、管理面強化の取組み

①生産部門の事例 (今後)

【取組み】設備、人、運搬車両、部品ラックをセンサーで繋ぎ、lot、AI活用による 構内物流の最適化

【ねらい】生産性の向上



②金型・設備投資の最適化

進捗状況 (出来た事)

- 部品事業予算管理のレベルアップ
 - >> フタバ単体での予算管理の精度向上
 - プタバ単体活動をグローバル拠点に展開

取組み 強化

安定した収益を上げるためには、設備投資の最適化が必須

- 金型・設備事業の予算管理強化
 - ➤ 3年先を見据えた投資計画
 - ➤ モデル切替に伴う生産設備投資の適正化
 - →資本コストを意識した投資検討
- 金型·設備の現地調達化推進
 - > 現状、中国のみの現調化をグローバルで実施
- 設備有効活用の仕組み構築
 - ➤ 複数プロジェクトへの転用

2. 効率化、管理面強化の取組み

③FUTABAグループ。ガバナンスの更なる強化

「FUTABA業務品質管理標準」を策定

- ・会社経営に必要な管理業務の『あるべき姿=良品条件』をまとめたもの
- ・FUTABAグループ(グローバル)共通のガイドラインとして運用

グループガバナンスシステムに関する実務指針*(2019.6)にも対応

*経済産業省策定

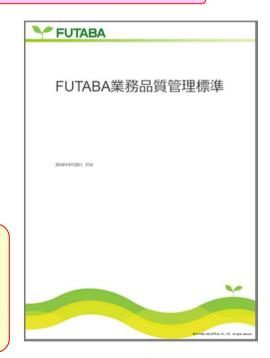
ねらい

業務品質の更なる向上によるリスク管理の強化 ⇒グループ全体の更なる経営品質の向上

グループ全体への展開

TQM活動とも連携し、各社での業務品質の向上を推進するとともに、リスク管理の考え方も踏まえた グループ全体の役割責任の整理を推進中

TQM:Total Quality Management



①グローバル事業計画の推進

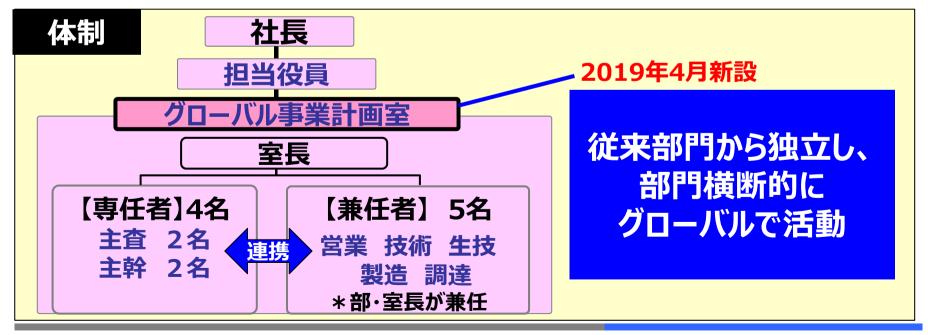
現状の課題

⇒プロジェクト毎の目標利益達成のための方策が個別最適

▶各部門の中長期計画が全体最適でなく、整合性に懸念

⇒リソーセス(ヒト・モノ・カネ)の投入/活用が非効率

将来の生産体制に関わるグローバルで中長期的かつ具体的な計画が必要



ねらい

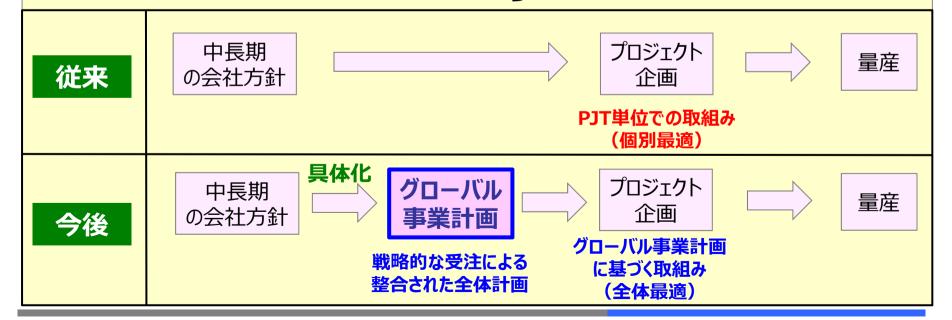
会社の中長期的な方針の確実な実現に向けて各部門の計画の調整を図り、整合のとれた全体計画を取りまとめる

⇒リソーセス投入を効率的かつ計画的に行うしくみを構築

〈全体計画〉

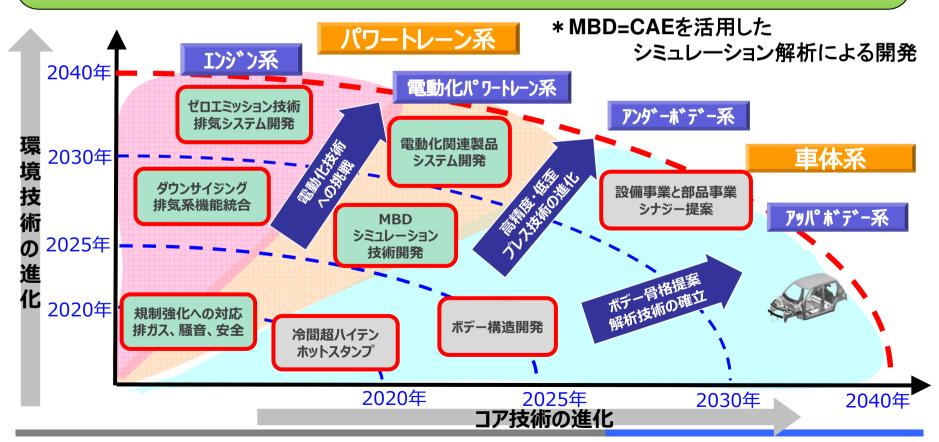
- ●将来の戦略的受注計画
- ●将来の生産の構え
- ●将来の技術/生技開発

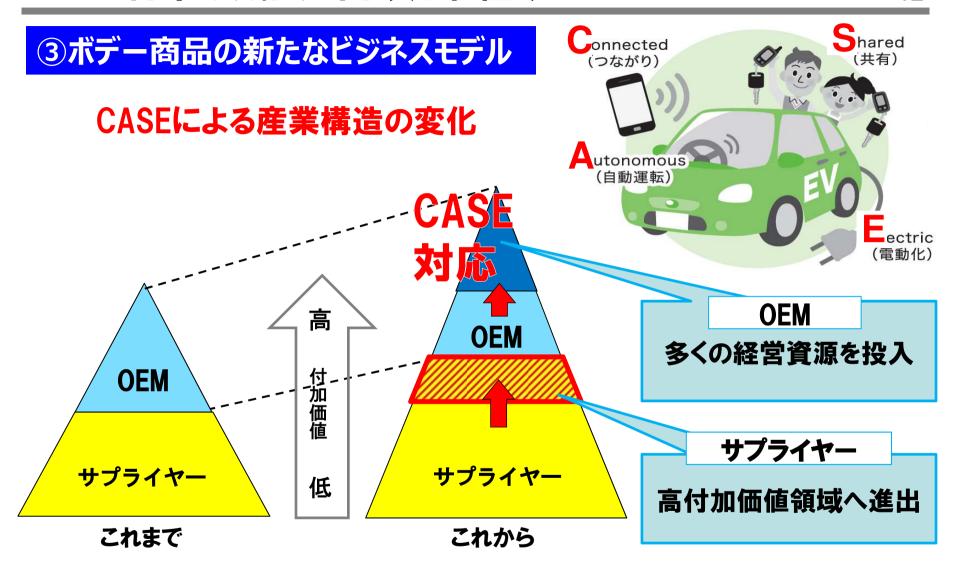
方向性を具体的に明確化



②電動車へ向けた開発強化

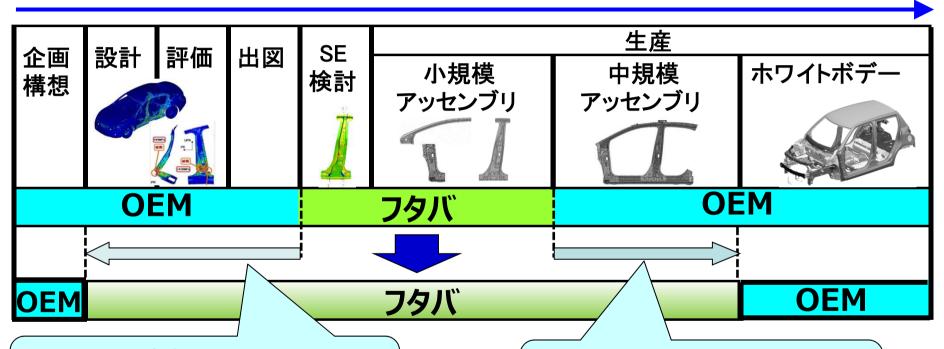
- 1. ゼロエミッションエンジンに貢献する排気システム開発
- 2. コア技術を活かした電動化新商品の開発
- 3. 電動化商品の企画・開発組織とMBD(*)、IT投資の強化





サプライヤーのビジネス領域も高付加価値領域へ移行

固有の加工技術の活用と新たな構造開発への取組みにより 高付加価値領域(ハイアッセンブリ)へ挑戦

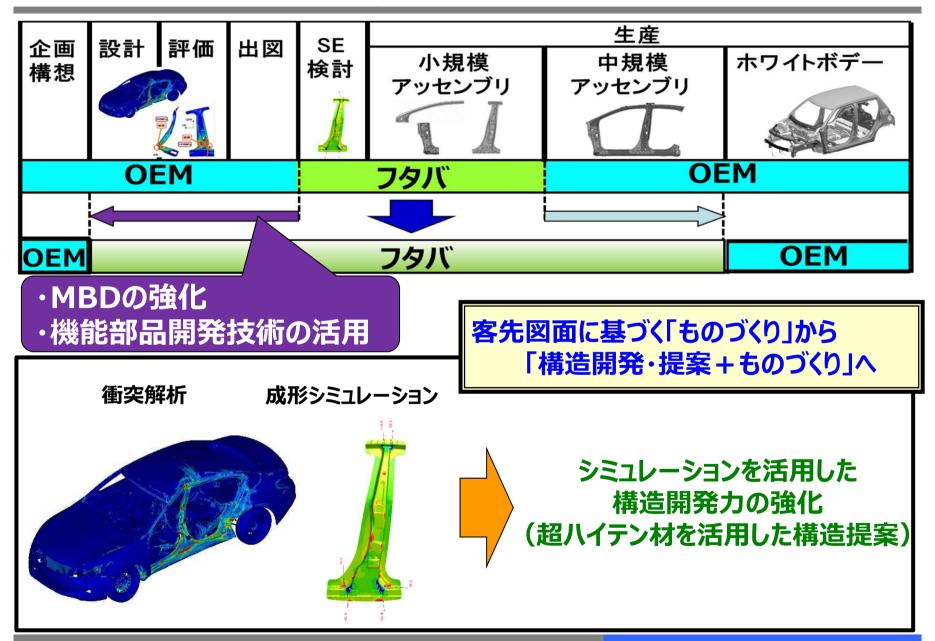


- ·MBDの強化
- ・機能部品開発技術の活用

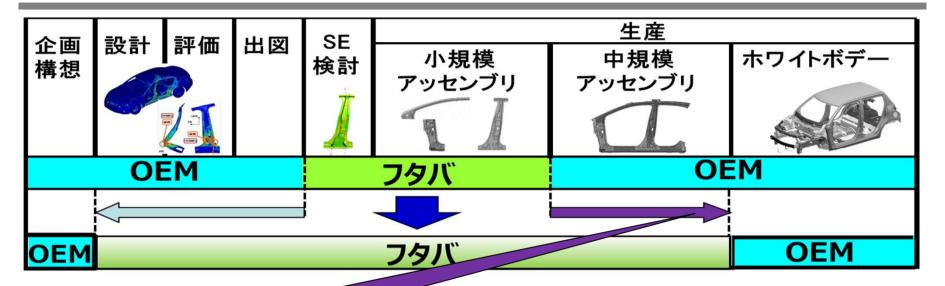
・外販設備事業のボデー アッセンブリ技術の活用

OEMのニーズに応えつつ、高付加価値領域へのビジネスに拡大

3. 将来の成長に向けた取組み



3. 将来の成長に向けた取組み



・外販設備事業のボデー アッセンブリ技術の活用

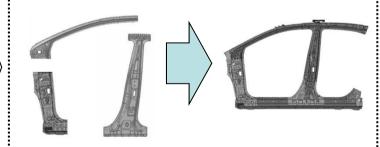
外販設備事業の ボデーアッセンブリ技術

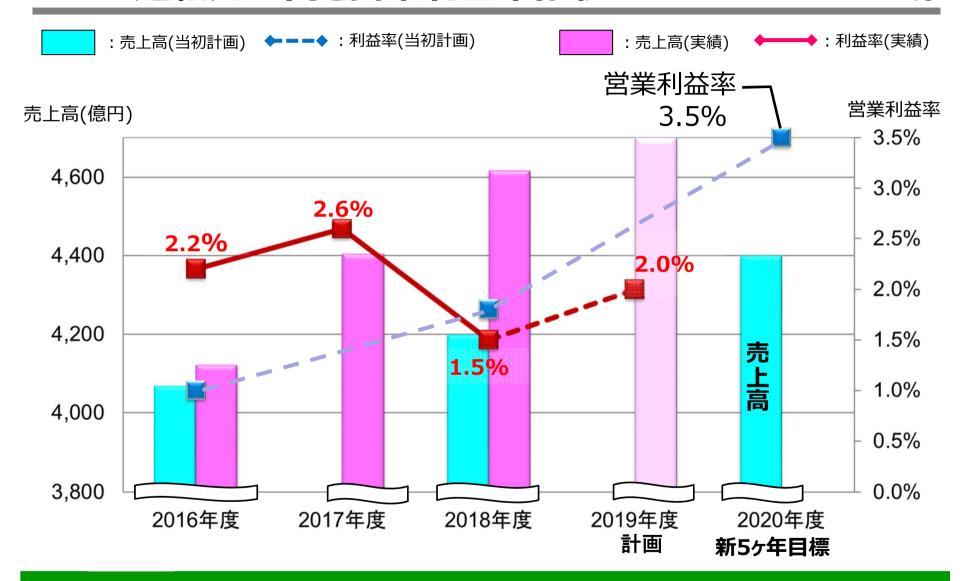


外販設備事業 が保有する 設備技術力の ノウハウを部品 アッセンブリと 融合 小規模アッセンブリ納入から 中規模アッセンブリ納入へ

小規模アッセンブリ

中規模アッセンブリ





新5カ年計画の最終目標達成に向け、計画を確実に実施

FUTABA

フタバ産業株式会社

http://www.futabasangyo.com/